



まほうの言葉の使い手に

清水小学校 六年 福山 僚

みなさんは、だれかの言葉で元気になったり、はげまされた経験がありますか。ぼくは去年、学校生活の中で、ある言葉で助けられた経験をしたいと思います。

清水小では月に一度、上級生だけのクラブ活動があります。ぼくは去年、スポーツクラブに入っていました。

ある日のクラブ活動は卓球でした。ぼくは前にもしたことがあったので、上手にプレーできる自信がありました。ところが試合が始まってみると、思っているほど上手に打ち返すことができず、ぼくの心は

すくすく、近くで応援してくれていた同じクラスの友達に「ドンマイ。」次がんばって。と大きな声ではげましてくれました。それを聞いて、ぼくの心は元気を取りもどして次の試合もがんばることができました。もう一つ、みやま市陸上記録会でこんなことがありました。

ぼくは、個人種目でボール投げに出場しました。初めての陸上記録会だったので、他の学校の人たちの顔を見ただけで、とてもきん張して体がふるえてきました。

いよいよぼくの番。ドキドキしながら円の中に入ろうとした時、清水小のテントから、「僚がんばれ。」という力強い声が聞こえてきました。それは、いつも仲よくしている六年生の声でした。そのおかげで体のふるえが止まり、ぼくの投げたボールは、いつもより遠くまで飛んでいきましました。結果は五位入賞。自分にとってベストの記録を出すことができました。

この経験を通して、ぼくは言葉には人に元気を与えたり、自信をつけたりするまほうのよう力があると思うようになりました。これからは、人をはげましたり自信をつけたりする言葉の使い手になって、ぼくの周りの人の心を明るく元気にしたいと思います。

【先生のコメント】

普段私たちが何気なく使っている言葉。でもどんな言葉を使うかによって人生が左右されると言っても過言ではないほど、言葉の持つ力は大きいと言われます。

僚さんは、学校生活の中でそのことを実感する体験をしましたね。だからでしょうか。遠ざらん自身も、誰にでも「大丈夫！」「すごいね。」など、友達や下級生を励ます言葉の使い手になっていきますよ。これから清水小のリーダーとして、前向きで優しい言葉を使って、清水小に「言葉のまほう」をかけてくださいね。

※この作文は、福山さんが五年生のときに書いたものです。

みんなの幸せ願って

みやまに生きる ひと 人 vol.116

農業 成清 菜見子さん (37歳)



もともとは旅行会社に勤めていた成清さん。結婚を機にみやまに移住。夫とともに農業に携わるようになった。主にナスを生産していたが、10年ほど前からダリア栽培に力を入れるようになった。農作業のほかにも、接客や営業を幅広くこなし、ダリアの手入れ方法、魅力を丁寧に説明している。「二輪でも存在感があることや種類の豊富さがダリアの魅力。大好きなダリアを生産でき、とてもうれしいです」

苦労を重ねて
ダリアを育て始めた頃は四苦八苦の日々。ダリア部会のメンバーたちと勉強を重ねた。

「満足のいく花が作れるようになるまで5年かかりました。この数年でさら

に品質・収穫量も向上し、ようやくスタートラインに立ったという感じですが」

ピンチをチャンスに
栽培が順調だった矢先、新型コロナウイルスの感染が拡大。入学式や結婚式は、規模縮小や自粛となり、ダリアの注文・購入数も減少した。苦しい状況だが、花の販売減がニュースに取り上げられ、それをきっかけにダリアに興味を持つてくれる人もいるという。

「ニュースを見て購入していただいたお客様も多く、とても助かっています。落ち込んでばかりではいられません！」

「みやまのダリア」をアピールしたい！
みやま市産のダリアをアピールするため、ニューヨークや上海など海外にも出荷。高い評価を受けたとのこと。今後はみやまの特産としてダリアを根付かせることが目標。

「みやま市」といったら「ダリア」とイメージしてもらえようが「ダリア」とイメージしてもらえるようにがんばりたいです。笑顔絶やさず話してくれた成清さん。一緒に働く人たち、そしてお客様への感謝を忘れず、ダリアの魅力伝えていく。



なりきよ なみこ
ダリアのほかに、リキュウソウやスナップエンドウ、高菜なども栽培しています。瀬高町本郷。
【みやま市にひとこと】
人が温かく、自然も多い。エコな取り組みもしていて住みやすいです。
【好きな言葉】
感謝。一期一会。

人権相談(無料)

〜ひとりでも悩んでいませんか？

【人権何でも相談】

■日時 5月20日(水)午後1時〜午後4時

■場所 あたご苑

■相談内容

いじめ、体罰、部落差別・男女差別・外国人差別などの差別問題、家庭内・借地借家・相隣間のもめごとなど

■福岡法務局 柳川支局
(TEL 72・2640)

新型コロナウイルス感染症に関する
人権への配慮について

新型コロナウイルス感染症に関連して、感染者やその家族、医療関係者、海外からの帰国者、外国人に対し、不当な差別、偏見、いじめなどがあつてはなりません。国や自治体からの発信に基づき、正確な情報を手ずるように努めましょう。

▼詳しくは福岡県のホームページをご覧ください。



電話による人権相談窓口

※平日午前8時30分から午後5時15分

みんなの人権110番

(TEL 0570・003・110)

子どもの人権110番

(TEL 0120・007・110)

外国語人権相談ダイヤル

(TEL 0570・090・911)

みやま文芸

清水句会

鳥影を数多宿せる大桜

朝光とともに届きし初音かな

邪馬台の嶺々染め上げし遠桜

かざすごと阿弥陀如来へ初ざくら

遠峰の花の浮き立つ白さかな

説法の一會賜る花の寺

満開の桜の下の御説法

足音を集めてをりし花万朶

真清水俳句会

母の日やこの歳にして解りけり

藤房にからまる風の中に立つ

若緑天に向かひて垂直に

幾年の春を重ねて同期会

牡丹園雨に小蟹が遊びに来

薫る風入れて連休中日なり

綿貫 惇

田尻カツ子

綿貫 淑子

西原トシ子

古賀 麗子

岩屋 清美

壇 篤子

猿渡 洋子

樺島美代子

平井 和子

宮地 末子

森田 蓉子

梅野 博山

紙田 幻草